

昭和十一年十月

黄河治水問題之関之满洲国

治水科長後藤技師委嘱関之件

H-0832

0359

發信用執務用		主信 1 3 4		要為三部		第一課長		東亞局		第二課長	
附甲		乙		丙		丁		第三課長		文書課長	
備考		1.3		在滿		植田大使		文書課發送 昭和拾壹年拾月七日 發送済		淨書	
公文案		治水問題ヲ研究シ置キ要アリト認ム		北支經濟開發ニ關聯シ滿洲ニ於テ黃河		滿洲國國道局才ニ技術署治水科長後藤		憲一出張方依頼ニ關スル件		主 第一課長	
外務省		治方ニ於テ本年他係方ニ限リ上		黃河		有田大臣		昭 和 十 年 十 月 日 起 草		正校 (原稿) 合 (淨書)	
		5		138							

ニ関スル圖上調査ヲ東京帝國大學教授ニ委嘱研究セシメ居ル處

廣シク黃河ニ關シテハ滿洲國國道局才ニ技術署治水科長後藤憲一ニ於テ詳知シ居ル趣ニシテ當方研究遂行上是非共同人ト敬

授トノ間ニ打合せヲ行ヒ度キ次才ナルヲ敬

授ハ大考ニ於テハ諸義ニ都合ヲ渡滿困難

H-0832

0350

公 信 案

外 務 省

ナルニ付最近、機会ニ後藤、上京方滿洲國
ニ於テ考慮シ得ラルルニ於テハ、最モ都合ナ
^{リハ存シ居}キ次亦ナリ、就テハ滿洲國種々、都合モ有ニ
^{側ニ就}ルハ存スルモ右事情可然ク御説明ノ上成
ルヘリ、早キ機会ニ後藤^{東京ニ}出張セシム様御
依頼相成度ク、旅費ハ當方ニテ負擔スレ
結果御回電相成度

H-0832

0361

電信課長

大臣
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 會官

寫送先



昭和11 二〇七〇七 略

新京 二十日後發
本省 十月二十日夜着

文化

有田外務大臣

植田大使

第九七一號

十月五日附貴信文化一機密第一一七六號ニ關シ

後藤ハ目下水力電氣ニ關スル重要ナル研究ニ從事シ居ル關係上長期ニ亘リ當地ヲ離レ難キ事情アルニ付國道局トシテハ成ルヘク東京帝大教授ト書信ニ依リ意見ヲ交換スルコトヲ希望シ居ル次第ナルカニ後藤ノ黄河視察報告書ノ如キモノモ送付シ得ル趣ナリ一已ムヲ得サレハ今月末ヨリ往復二週間位ノ豫定ニテ後藤ノ東京出張方取計ヒ得ル見込ナル旨滿側係官ヨリ内報アリタルニ付何分ノ儀御回電相成度シ

13

外務省

13

H-0832

0357

文化第二課長

東亞局

第一課長

第三課長

文化事業費

送

主 文化事業部長

任 第一課長

林

昭和十一年十月二十日

電信課長

大

22 27

印

第 1632 號

昭和十一年十月二十二日 午後 6 時 一分

在滿

植田大使

有田大臣

件 滿洲國と道南治水利
長ノ上京方ニ関スル件

第八一八 號

名 件 録 記

貴電才九七二號ノ函シ

帝大教授ト協議セル處書信ニテハ到

底十分ナル意見ノ交換ヲ行フ事不可能

電信案

外務省

(原機用紙乙)

ナル以下是非共後藤ノ上京方取付心

度シトノトナル付冒頭貴電未段ノ事

定ニテ同人ノ出張方御取付相成度致

尚故書ハ此地ニ於テ交付スルニスル

旅費ヲ付テハ滿洲ヲ其出得ルノ最

手好都合ナル付ハ滿洲ヨリ其出方困難

ナル際ハ當方手負權ナシハ滿洲ヲ引

テ應御接街ノ上結果至急御由書テ度

電信案

外務省

H-0832

0363

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 文人 記事 會社 秘書官

大臣 次官

電信課長

1.3

收 11.12.-7

昭和11 二一六六九 略 新京 二日後發
 本省 十一月二日後着 文化

有田外務大臣 植田大使

第一〇〇六號

往電第九八二號ニ關シ

後藤技師ハ來ル九日新京出發十一日東京ニ到着シ十九日迄滞在スル
 コトニ決定セル旨國道局ヨリ通知アリタリ(了)

外務省

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 文人 記事 會社 秘書官

大臣 次官

電信課長

1.3

昭和11 二一一一八 暗 新京 廿六日前發
 本省 十月廿六日後着 文化

有田外務大臣 植田大使

第九八二號

貴電第八一八號ニ關シ(滿洲國國道局治水科長ノ上京方ニ關スル件)
 後藤ハ十一月一日又ハ二日當地發東京ニ直行ノ筈(了)

外務省

H-0832

0364

至急

第二課長

東亞局
第三課長

淨書在渡

題案

要案本部

發信用執務用			
主信	1	3	4
附甲			
附乙			
附丙			
附丁			
備考		1,3	

文書課長

文書課發送 昭和拾壹年七月六日 發送

淨書 (原稿) (淨書)

主 文花事業部長

任 第一課長

林

昭和十一年七月五日

文花

昭和拾壹年七月六日

日附 附屬

梅津陸軍次官

堀内次官

件 滿洲省各道向水利科長後藤技師東京出張
名 取付方付

北支經濟開発・開發・黃河治水問題
研究資料アリト認ノ者方之 旅チハ 兼有係官

トモ聯絡ノ上其ノ圖上調査ニ乘取事大ニ
教授ニ委嘱也知滿洲省各道向水利科長
後藤技師下黃河ニ関シ實地調査ノ者
類ニ在リ者乃研究進行上同技師トテ大教授
其他關係者ト打合テ是非行テ度出性也
凡知教授例ノ編義ノ關係上渡橋困難
尤亦後藤技師東京出張ノ者例

公 信 案

外 務 省

6 120

H-0832

0365

公
信
案

外
務
省

非中者之依頼を外交事務司
就其右端訓令政府之依頼を御取計相
度此段申進ス

H-0832

0355

要綴込

秘

電報

電報

岩内山領事

岩内山領事

電信寫

第一課長

第二課長

昭和11 二二〇六八

暗

天津

本省

十一月七日後着

正文化

有田外務大臣

第五〇五號

本官發青島宛電報

第四八號

貴電第二八號ニ關シ

潮崎ハ邯鄲、大名、南樂、開州、濮州、莘縣、東昌、濰平、高唐ノ
經路ニテ旅行セルモノニシテ東昌、齊河間ヲ旅行セル譯ニハアラサ
ルモ東昌附近ニテ見タル所ニ依レハ齊河方面ニ向ヒ土盛工事ハ完成
シ居リ一部既ニ崩壞シカカリ居ル箇所スラアリ但シ「レール」ハ敷

11.12.11

設セラレ居ラス（此ノ點貴電ハ傳言ノ誤ト思ハル）トノコトナリ

又同人カ大名附近ニテ聞キタル所ニ依レハ膠濟鐵道カ楚旺迄延長セ

ラレタリトノ説（十月五日附亞一機密第一六五七號）ハ事實ニアラ

サルカ如シトノコトナリ（尤モ同人自ラ楚旺ニ赴キタル譯ニアラス）

尙同方面ハ目下滿鐵ノ調査班視察中ニシテ近日歸津ノ筈（潮崎モ途

中ニテ落合ヒタル由）

大臣、支、北平、南京、濟南へ轉電セリ

H-0832

0367

拜啓愈々御清祥奉賀候陳者黄河治水問題ニ關聯シ豫テ其ノ關上調査
ヲ東京帝國大學工學部山口(昇)關(信雄)兩教授ニ依頼シアリタ
ル處教授側ニ於テハ黄河ノ實地ヲ詳知シ居ル滿洲國國道局治水科長
技師後藤憲一トノ共同研究ヲ行ヒ度依テ同技師ノ上京取計方希望シ
來リシニ付當方ニ於テ折衝ノ結果今同技師ノ上京ヲ見ルニ至リタ
リ就テハ同技師ニ對シ旅費金四百五十拾圓及支度料ノ意味ニテ金百五
拾圓(内譯別紙ノ通り)計金六百圓ノ高當方ニ於テ一時立替支給シ
置キタル處右治水問題ハ華北産業科學研究所ノ事業ノ一ニ有之從テ
前記旅費ハ産業科學研究所ヲシテ支辨セシメ度ニ付右ノ經費研究所
側ニ御傳達ノ上立替金額ハ文化事業部第二課長宛ニテ至急送金スル
様御指示相煩度此段御依頼申進候 敬具

昭和十一年十一月十六日

外務省

11.9

林 外務省文化事業部第一課長

在青島
西 總領事殿

外務省

11.9

H-0832

0368

外務省

旅費内訳 (高等四等)	
新 京 大連間 一等汽車賃往復 (急行料共)	金 七 一 〇 〇
大 連 神 戸 間 一等船賃往復	金 一 三 〇 〇
神 戸 東 京 間 一等汽車賃往復 (急行料共)	金 四 五 〇 〇
日 當 一日七圓ノ制十四日分	金 九 八 〇 〇
宿泊料 一夜十二圓ノ制十日分	金 一 二 〇 〇
仕度料	金 一 五 〇 〇
計	金 六 一 四 〇 〇
査定支給額	金 六 〇 〇 〇

11.9

H-0832

0369

別紙

旅費内訳 (高等四等)	
新 京―大連間 一等汽車賃往復(急行料共)	金 七 一 〇 四 〇
大 連―神戸間 一等船賃往復	金 一 三 〇 〇 〇
神 戸―東京間 一等汽車賃往復(急行料共)	金 四 五 〇 二 六
日 當 一日七圓ノ割十四日分	金 九 八 〇 〇
宿 泊料 一夜十二圓ノ割十日分	金 一 二 〇 〇
謝 儀料	金 一 五 〇 〇
計	金 六 一 四 〇 六 六
査 定 額	金 六 〇 〇 〇 〇
支 給 額	金 六 〇 〇 〇 〇

外務省

11.9

H-0832

0372

産研發第二十二號

昭和十一年十一月廿五日

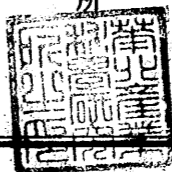
青島江蘇路一九號

華北産業科學研究所

外務大臣 有田 八郎 殿

黄河治水調査費送金ノ件

十一月十六日付文化事業部第一課長發青島總領事宛公信ニ依ル黄河治水調査ニ關スル本省立替金合計金六百圓也本日横濱正金銀行當地支店ヨリ貴地同行支店文化事業部第二課預金口座ニ振替手續ヲ了シタルニ付御諒承相成度



寫 青島總領事

産研發第二二號

昭和十一年十一月廿五日

青島蘇路一九號

華北産業科學研究所

外務大臣 有田 八郎 殿

黄河治水調査費送金ノ件

十一月十六日付文化事業部第一課長發青島總領事宛半公信ニ依ル黄河治水調査ニ關スル本省立替金合計金六百圓也本日横濱正金銀行當地支店ヨリ貴地同行支店文化事業部第二課預金口座ニ振替手續ヲ了シタルニ付御諒承相成度

寫 青島總領事

外務省

11.9

H-0832

0373

青島

文化
12.2.6
事業部

文化事業部

第二

青島

昭和三年正月六日 接受

B

普通第八四號

昭和十二年一月二十九日

在青島

總領事代理 門 脇 季



外務大臣 有田 八郎 殿

華北産業科學研究所公信轉送ノ件

今般當地華北産業科學研究所ヨリ貴大臣宛左記書翰提出アリ

タルニ付右別添ノ通茲ニ轉送ス

記

産研發第三十號 黄河治水調査費ニ關スル件

以上

在青島日本總領事館

收
12.2.12
濟

別付ノ書翰

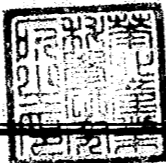
3

産研發第三十號

昭和十二年一月廿八日

青島江蘇路一九號

華北産業科學研究所



外務大臣 有田 八郎 殿

黄河治水調査費ニ關スル件

本件ニ關シテハ客年十一月廿五日附産研發第二十二號ヲ以テ申進置タル通りニ御座候處右ニ關スル領收證未着ニ候間何卒御取調ニ相成度帳簿整理ヲ都合モ有之候ニ付右領收證至急御送附相成度此段御依頼申上候

敬具

寫 青島總領事

H-0832

0374

H-0832

公 信 案
外 務 省

度
 (内課書及領收書同封送付す)
 一 撥及送付ニ付研究所へ即轉送方取付相成
 圓ヲ在籍支辨ニ上別紙通内譯書及領收書
 水科長技師後藤憲一ニ對シ概算旅費上金名存
 委嘱ニリ黄河治水調査局出張ニシテ滿洲國治
 打合(東洋)

發信用	執務用
主 信	
附 甲	
乙	
丙	
周 丁	
備考	1 3

12.2.12
 12

別封送付
 別封

文書課長	文書課發 昭和拾貳年貳月九日 發送券	淨書	正校(原稿) (送)	(淨書)
主 管	文化事務部長	了	第二課長	高
文化二課普通	第三七號	昭和拾貳年貳月九日	日附	附屬
受 信 人 名	旅費立替方通知ノ件	林天臣		
名 件	本件ノ前一月廿九日附普通第八四号貴信ヲ以テ			
備 考	御申越ノ趣ヲ承ルニ貴地華北産業科學研究所			

9 71

文書課長

別紙

文化二課

(送)